

11月19日「世界トイレの日」： SFAグループ、今年も世界規模での取り組みを実施



写真提供：SFA

新設手洗いエリアの開所式

フランス（2011年、2018年、2019年）、カンボジア（2016年）、セネガル（2017年）でのプロジェクトに続き、Sanibroyeur®の発明企業であるフランスのSFAグループは、2023年よりインドのスラブ・スクール・サニテーションクラブ（Sulabh School Sanitation Club）を財政的に支援しています。この活動の主な目的は、インドの学校における生活の質の向上です。



これまでに、ハリヤナ州（2023年：4校・約250名）およびシッキム州（2024年：3校・約296名、さらに2025年には3校・約314名を予定*）、合計およそ900名の生徒がSFAグループの支援を受けてきました。

この支援により、毎年、トイレの全面改修、手洗い専用スペースの新設、女子生徒のための専用エリアの整備などが実施され、生理時の衛生管理を可能にしています。清潔で設備の整った施設は、感染症の予防や病気の拡大防止に貢献するとともに、特に女子生徒の登校率向上にも大きく寄与しています。



衛生キットの配布

月経管理に関する研修セッション

詳細については、下記までお問い合わせください：

SFA-41 bis, avenue Bosquet - 75007 Paris - 電話 . +33 (0)1 44 82 39 00

www.sfagroup.com

www.linkedin.com/company/sfagroup

すべての人々が衛生的な環境にアクセスできる社会の実現に向けた使命のもと、SFAグループは毎年11月19日の「世界トイレの日」を記念し、世界各地で連帯を目的とした支援活動を実施しています。

また、本プログラムは、衛生キットの配布、体験型の研修セッション、健康・衛生教育の実践的ワークショップなどを通じて、生徒や教職員の日常生活にも具体的な効果をもたらしています。

2025年には、「月経の尊厳（Menstrual Dignity）」をテーマに掲げ、女子生徒のニーズに合わせた専用の手洗いスペースおよび2つの衛生ブロックを新設予定です。さらに、生理に関する理解を深め、尊重・自信・安心をもって向き合えるようにするための研修セッションも行われます。

*2025年に支援対象となる学校：

- Gvt Senior Secondary School, Namchey Bong
- Kumari Pema Chuden Govt Secondary School, Rongli
- Tikalal Niroula Govt. Senior Secondary School, Central Pendum



新設の衛生ブロック